

# いこま もっと知ろう、いこまのこれから。 市議会のうごき

No.158

令和6年(2024年)

3月定例会

3月 6月 9月 12月



## 3月定例会 一般会計予算案等を可決

第2回観光フォトコンテスト 特撰  
「春の棚田」

### INDEX

|               |       |
|---------------|-------|
| 議案審議 .....    | P.2-5 |
| 一般質問 .....    | P.6-9 |
| 募金活動を実施 ..... | P.10  |
| 議会のうごき .....  | P.11  |
| 議決結果 .....    | P.12  |

HPでも詳細をご覧ください。  
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>



## 3月定例会 議案審議

一般会計予算を含む総額797億円超  
(前年度比6・3%増)の令和6年度  
予算議案などを賛成多数で可決

## 令和6年度予算の内容（抜粋）

## ○こども・子育て支援

- ・産前産後ホームヘルプサービス・・・500万円
- ・保育料の第2子無償化・・・1億1,332万円
- ・壱分幼稚園のこども園化・・・1,430万円

## ○学校・教育

- ・校内サポートルーム事業・・・573万円
- ・屋内運動場空調設備整備事業・・・6,026万円

## ○地域福祉

- ・地域共生社会推進全国サミットの開催・・・2,447万円

## ○健康づくり・医療

- ・アピアランスケア支援事業補助金・・・50万円

## ○産業・雇用就労（農業）

- ・スマート農業推進事業・・・140万円

## ○生活環境

- ・生駒駅前の自転車駐車場及び自動二輪駐車場の新設・・・2,401万円

## ○街の空間づくり

- ・生駒駅周辺都市再生（まちなかウォーカブル推進）事業・・・1,292万円

## ○スマートシティ・DX

- ・窓口DXの推進・・・708万円

## 一般会計当初予算を賛成多数で可決

一般会計は、歳入歳出の総額で、470億600万円（前年度比13・4%増）を計上しています。

歳入では、市税や県税交付金などの税収が、5・7億円減少する一方、地方交付税や特定財源の増加により、歳入全体で55・6億円の増加となりました。

歳出では、清掃センター基幹的設備改良工事に係る事業費の増加、社会保険関係費および物価高騰にともなう事業費の増加も見込まれることから、歳出全体で55・6億円の増加となりました。

また、4つの特別会計は総額239億6653万円（前年度比1・9%減）、3つの企業会計は総額88億2287万円（前年度比3・9%減）を計上しています。

## 賛成討論の論点

○予算総額は、前年度比13・4%増となったが、限られた財源のなか、特定財源や基金を活用して予算を編成しており、公共施設の維持管理などの必要な事業に取り組みながら、市民ニーズをふまえた、新たな投資的事業も組み込まれた予算だと評価する。

## 反対討論の論点

○子育て支援などについては評価する一方、中長期的課題に対する戦略的視点が欠けており、各施策の効果分析や評価が十分に行われないまま、新たな事業に様々取り組むことは、財政や職員負担増加が懸念される。

○基金の取崩しや起債によって歳入を確保せざるを得ない状況のなか、費用対効果の低い事業が散見される。

また、民間企業の職員を根拠規定なく、密接に関係する課に受入れ、人件費を負担金として支出することは、看過できない重大な問題である。

## 議会費の歳出予算は、3億2,650万円

一般会計の歳出予算のうち0.7%が議会費の割合となります。

## 【おもな内訳】

- ・議員報酬・期末手当（22人） 1億8,939万円
- ・政務活動費（月額3万円） 792万円
- ・いこま市議会のうごきの作成（年5回） 292万円
- ・本会議・委員会会議録の作成および会議録検索システム運用にかかる費用 1,038万円

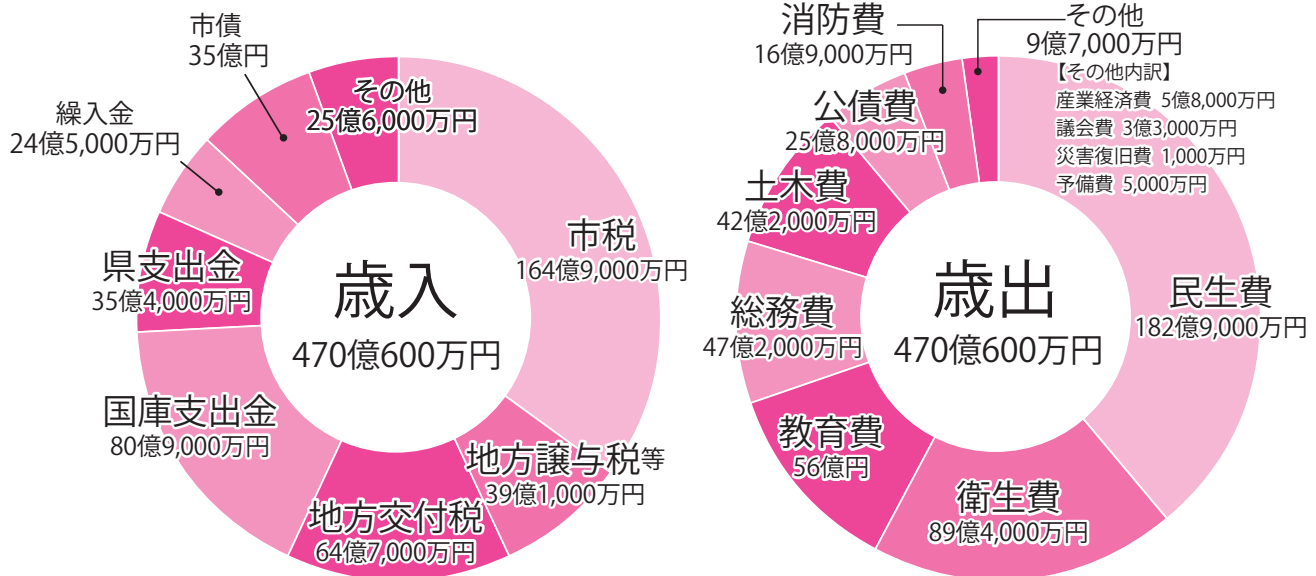
（※万円単位に四捨五入し、表示しています。）



# 令和6年度 当初予算を可決

## 一般会計当初予算の構成

※ 1,000 万円単位に四捨五入して表示しています。



**地区計画区域内建築物の制限に関する条例の改正を賛成多数で原案可決**

この議案は、令和5年12月に都市計画決定された「学研生駒テクノエリア北地区」および「吉分北地区」の地区計画について、地区内における用途や敷地面積などを制限し、実効性を高めるため、改正されるものです。

なお、本会議で「吉分北地区」に係る改正部分を削除する修正案が提出されましたが、原案を可決しました。

### 修正案賛成討論の論点

○吉分北地区については、現在県が開発許可申請に対する審査を行っており、用途地域との適合や地区計画との整合など、様々な基準について審査されることになるが、いまだ形式審査の段階であり、内容審査まで進んでいないことから、条例改正は時期尚早と考える。

**特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の改正を全会一致で可決**

この議案は、第2子の「満3歳未満保育認定子ども」の保育料を無償化し、多子世帯の子育て負担の軽減を図るた

め、改正されるものです。

また、第2子のカウント方法も見直しを行い、同一生計で扶養する子については、年齢を問わず対象とします。

### 賛成討論の論点

○多子世帯における経済的な負担軽減を図る重要な施策であり、子どもを産み育てやすい環境を整備し、少子化対策に寄与する取組と考える。

今後も、保護者への経済的支援や高まる保育ニーズへの対策などを進めてもらいたい。

### 意見書を国に提出

**○若者のオーバードーズ（薬物の過量服薬）防止対策の強化を求める意見書**

### 意見書概要（要約）

国に対して、社会問題となっている市販薬などの過量服薬による健康被害から若者を守るため、特段の取組を求める。

意見書全文はこちら▼



## 教育長の任命に同意

原井葉子教育長を引き続き任命する議案が提出され、全会一致で任命に同意しました。任期は、令和6年4月から3年間です。

## 人事案件を審議

任期満了にともなう選挙管理委員と同補充員を指名推薦により選挙するとともに、人事案件2件が提案され、同意することおよび適任と認めることを議決しました。

### ○選挙管理委員会委員

新田博司さん 前田邦典さん  
中谷隆一さん 山本有佳里さん

### ○選挙管理委員会委員補充員

阪野由紀子さん 當麻正巳さん  
西條邦男さん 上田光男さん

### ○監査委員

平松亜矢子さん

### ○人権擁護委員

大西雅美さん 山崎憲二郎さん  
井上美代子さん

## 自転車駐車場条例の改正を全会一致で可決

この議案は、生駒駅北側における恒常的な自転車駐車場需要に対応するた

め、「谷田第3自転車駐車場」を新設するとともに、安定運営を図ることを目的に、周辺市町村との差を考慮した利用料金の値上げを行うため、改正されるものです。

また、新たな指定管理者による24時間営業を、令和7年4月から行うための改正も併せて行われます。

### 賛成討論の論点

○委員会における質疑から、今回の自転車駐車場の新設などにより、生駒駅周辺の駐車場需要に十分対応できると考える。

また、24時間営業やキャッシュレス精算機導入など、市民の利便性向上に引き続き取り組んでもらいたい。

## 第6次総合計画第2期基本計画の策定を全会一致で可決

総合計画は市のビジョンを示す「基本構想」と行政運営のプランを示す「基本計画」から構成される、市政の根幹となる重要な計画です。

この議案は、現在の第1期基本計画が令和5年度で終了することから、令和6年度を新たな計画期間の始期とする第2期基本計画を策定するものです。市議会では昨年6月に総合計画特別委

員会を設置し、素案の段階から継続的に審査を行ってきました。

3月定例会では、パブリックコメントおよび市議会から提出した意見をふまえ、議案が提案され、全会一致で可決しました。

策定された第2期基本計画については、二次元コードからご覧ください。

第2期基本計画▼



## 生駒市ハラスメントの防止等に関する条例の制定を継続審査とすることに決定

この議案は、職場におけるハラスメント防止体制の更なる強化に向け、職員個人の尊厳が尊重され、快適な勤務環境を確立することを目的として、制定されるものです。

なお、委員会における審査では、閉会中の継続審査の動議が提出され、委員会および本会議において、賛成多数で継続審査とすることに決定しました。

### 継続審査賛成討論の論点

○条例制定の趣旨は理解するものの、理念的な条例においては、制定までの

過程が重要であり、職員に対するアンケートなどの実態調査を行い、庁内の現状を把握するなど、根拠となる立法事実を明確にする必要があると考える。

※閉会中の継続審査・・・本会議に提案された議案について、議案の内容によって、その会期中に結論を出すことができない場合には、審査を付託された委員会の申出に基づき、本会議において閉会中の継続審査が議決された場合、次の本会議までの閉会中に委員会を開催して審査することができる。



風通しの良い職場環境を

## 委員会の調査報告

### ○総務市民委員会

総務市民委員会では、災害時の情報収集・発信に関して、本市および他市の取組を調査し、現状と課題を把握することを目的に「災害に係る情報発信・広報について」をテーマに調査を実施し、次のとおり意見を取りまとめ市に提出しました。

- 地域の特性に則した「地区防災計画」策定の推進と「マイ・タイムライン」作成の必要性についての意識づけを進めていくとともに、避難行動についての周知を図ること。
- 今までの情報発信に加え、他の事業などとも連携し、災害関連の情報に触れる機会を増やすこと。
- これまで以上に自治会などと連携を進めていくとともに、「自助」、「共助」、「公助」の意義について、更なる周知・啓発などを行うこと。
- 生駒市独自の防災アプリの開発やドローンなどを活用した情報収集およびAーなど新しいツールの導入、活用について一層の検討を進めること。
- 公共Wi-Fiの設置を進めることおよび事前に電源を確保するための手段・方策などについて更なる周知・検討を進めていくこと。

### ○厚生文教委員会

厚生文教委員会では、子ども施策の総合的な推進を目的とする「こども基本法」や、こどもまんなか社会の実現に向けた「こども大綱」に基づき、子どもを中心とし、子どもやその家庭に対する様々な支援が推進されている状況をふまえ、本市において実効性のある子育て支援について検討することを目的に、「子育て支援について」をテーマに調査を実施し、次のとおり意見を取りまとめ市に提出しました。

- 送迎保育ステーションについて  
送迎保育ステーションは、待機児童の解消や、保護者の送迎に係る負担の軽減などに有効であり、駅前の保育ニーズや郊外の幼稚園に生じる空き定員などの生駒市における現状に対しても有効な施策であると考えことから、送迎保育ステーションの設置検討をより具体的に進めること。
- 子育て世帯などの孤立感や不安感、経済的負担を軽減する取組について  
墨田区で先行導入された家事・育児サポーター事業を参考により良い事業を構築すること。
- 虐待を未然に防止するために東京都で実施中の取組を参考に、妊娠期間から出産後の適切な時期までの妊産婦支援に取り組むこと。

### ○経済建設委員会

経済建設委員会では、本市における移動手段やその維持について、効果的な対策を検討することを目的に「地域公共交通について」をテーマに調査を実施し、市に提言を行うとともに、次のとおり「地域公共交通に関する決議」を委員会として提出し、全会一致で決議しました。

- 日頃から市・市民・公共交通事業者の三者が連携・協力できる体制を整えておく必要がある。具体的には毎年、三者のそれぞれが有する情報を共有し、意見交換できる場を設けること。
- 公共交通事業者への経常的な補助を実施するとともに、ふるさと納税の活用などその財源について検討すること。なお、「高齢者交通費等助成事業」については、地域公共交通の在り方と併せて検討すること。
- 一定数の利用者を維持するため市民ニーズを把握したうえで、市民参画を図り、利便性を向上させる必要がある。学校行事における公共交通の活用など将来へつながる利用促進を進めること。

なお、決議の全文については、二次元コードからご覧ください。

決議全文はこちら▼



### ○議会運営委員会

議会運営委員会では、議会基本条例第23条第1項に基づき、予算議案および決算議案の審査資料の見直しに係る提案があったことから、当委員会の検証事項として、協議を進めてきました。

本市の取組内容および他市議会の事例を調査し、埼玉県ふじみ野市における決算審査資料および神奈川県藤沢市における予算審査資料作成などの取組が、検証事項の協議において参考となると考えられたことから、ふじみ野市議会および藤沢市議会に視察調査を実施しました。

今後は、視察調査などの結果をふまえ、本市において取り入れるべき点などを精査し、引き続き検証事項の協議を進めていきます。



行政視察の様子



＼ここが知りたい！／

# 本会議の一般質問

3月  
5日～8日

定例会

掲載以外の質問内容もありますので、

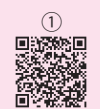
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。

二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

質問者数 **15** 人

災害時の対応について

中尾節子議員（無党派）



**問** いつ発生するかわからない災害は危機感を持って備えることが大切である。本市で断水が発生した場合、市民への水の供給はどうなるのか。

**答** 当面は家庭で事前に準備した水を使用いただくことが基本となる。耐震貯水槽の設置および配水池への緊急遮断弁の設置などにより、緊急時に市民が1週間程度使用できる量の水を確保している。確保している水の素早い配布および水が少なくなつた際の迅速な応援の要請が重要である。

**問** 避難所ではトイレを心配し水分を控え健康に支障を来す事例があり、マンホールトイレなどのトイレの整備は必要と考えるが、どうか。

**答** 必要性が高まっていることは認識していることから、関係部門と連携しながら調査・研究を続けたい。

**問** 災害時要援護者避難支援事業の見直しで、福祉専門職の負担増が懸念されるが、どのように連携するか。

**答** 地域で計画を立てる際に、支援が必要な方の避難時の注意点、配慮すべき事項を助言する立場で関わっていたことや、支援の必要性を感じる方に支援希望を届け出るよう声をかけていただくような関わり方を考えている。

管理が行き届いていない空き家などへの対応について

成田智樹議員（生駒市議会公明党）



**問** 令和5年12月に改正空き家等対策特措法が施行されたが、本市における空き家数の状況および特定空き家、管理不全空き家の数は。

**答** 平成28年度の空き家等実態調査では、1444棟あったが、令和5年度の調査では、前回調査時の半数近くが解消され、新たに発生した空き家と合わせて、1306棟であった。

また、法律で定める特定空き家、管理不全空き家に該当するものはない。

**問** 特措法改正および令和6年4月1日からの相続登記申請義務化により、どのような効果を見込んでいるのか。

**答** 特措法の改正により、特定空き家等になる前の行政指導の幅が広がり、特定空き家等の発生を未然に防止する効果が見込まれる。

また、相続登記申請の義務化にとともに、手続きが速やかに行われることにより、調査を要する土地の件数および公示送達の数減少するなど、課税業務の円滑化が期待される。

他の項目

●認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて

本市の農業振興について

加藤裕美議員（無党派）



**問** 農家は、高齢化と後継者不足の問題に直面しているが、本市の新規就農者を増やすために、どのような働きかけを行っているのか。

**答** 農地のマッチングや就農相談などを行うイベントへの出展や、平成4年8月から実施している生駒ファーマーズスクールの卒業生に、農地のマッチングや補助制度の紹介など就農支援を行っている。

**問** 鳥獣害対策の効果はどうか。

**答** イノシシによる被害に対し、農家などからの要望に基づき、捕獲檻の設置や地域檻の資材支給を行い、被害が減少するなどの効果が出ている。アライグマの被害に対しては、捕獲檻の貸出により、一定数の捕獲による効果が出ている。

**問** 農福連携の促進について、どのような考えか。

**答** 農業関係者と福祉事業者との意見交換の場を設定するとともに、遊休農地のあっせんや農業専門家の派遣などを実施して促進していきたい。

**問** 後継者がいない農地の活用について、市の対策は。

**答** 農業委員会における農地利用の最適化を行う取組や、農業経営基盤強化促進法の規定に基づき、地域計画を策定する予定である。



生駒南小・中学校の施設整備について

竹内ひろみ議員（日本共産党）

**問** 基本構想の策定に向け「施設整備を考える会議」が3回開催されたが、論議は十分行われたのか。

**答** 3回の会議で、どのような学校をつくっていくのかについて、様々な意見をいただいた。

**問** 小学校6年、中学校3年とする小中一貫教育を進めるとしているが、義務教育学校も選択肢に入れるのか。

**答** これまでは検討したことはないが、選択肢の一つとして議論する必要があると考えている。

**問** 校舎については、同一校舎が別校舎にするかは基本的かつ重要な問題であり、どのように検討するのか。

**答** すでに職員で先進地視察などを実施しているが、今後具体的に施設について決定していく上で、議論していただく方にも可能な限り、視察の機会を設けるとともに、建築や教育の専門家の話を聞く機会も設け、様々な角度から検討していきたい。

**問** プールについて、「学校教育だけでなく生涯教育の場として活用する施設を整備したい」とのことだが、生涯学習施設とする方向も考えているのか。

**答** 令和6年度で策定する基本計画の中で検討することは必要と考えている。



地震災害時の医療・救護活動および平時の救急医療体制について

伊木まり子議員（無党派）

**問** 救護所の設置時期、場所、医師や看護師の確保は。

**答** 救護所は、本市で震度5強以上の揺れを観測した場合、市内の中学校8校に開設し、看護職員などの市職員が救護所に向かうとともに、校区内の医師会所属の医師が救護所に自動参集していただくことになる。

**問** 救護所ではどのような処置が受けられるのか。

**答** 災害によって発生したけがもしくは、軽症の内科的な急病の方が対象となる。

**問** 災害時、市立病院に患者が集中することが予想されるが、受入れ想定人数は。

**答** 最大の被害を想定した場合、市内全体の推計や緑ヶ丘中学校と近隣地域での人口比率で算定し、約250人の受入れを準備している。

**問** 市立病院開院前に制定された「生駒市応急業務実施要綱」に基づき応急診療業務が実施されているが、要綱の見直しが必要ではないか。

**答** 今後、検討していきたい。

他の項目

● 5歳児健診の実施に向けた有識者による協議について



学校における食育の推進・学校給食の充実について

福中眞美議員（凜翔・絆）

**問** 米飯給食をお弁当箱方式から、ご飯をお茶碗によう方式へ移行することについての検討状況は。

**答** 課題として移行当初に食器などが必要となり、初期費用がかかることおよび配膳に時間がかかり喫食時間が短くなることが予想される。県学校給食会や事業者との調整が必要なことから継続的に検討・調整する。

**問** 全国平均より少ない米飯給食の回数を増やすための研究はどうなっているのか。

**答** 予算の試算をするとともに、県学校給食会や委託事業者に聞き取りを行っている。食材などの物価上昇が続く、主食についても値上がりしていることから食材全体の購入にかかる予算確保が課題で、今後も継続的に検討・調整する。

**問** 給食時間は大切な授業時間だが、時間が短いと言われている。時間確保について研究や調査、工夫はされているのか。

**答** 学校としてのカリキュラムがあることから時間的制約はある。準備が遅いことや、給食に集中出来ないことで時間が無い場合もあることから、教員から適切な声かけを行っている。



市長施政方針について

浜田佳資議員（日本共産党）

**問** 生駒市の中心課題である、人口減と少子高齢化との関係で、働き盛り世代の定住意向が低下傾向にあることの分析と対策はどうか。

**答** 令和4年度市民実感度調査では、6.3%が「市外に移りたい」と回答し、おもな理由が、「通勤・通学が不便」「公園や道路など都市基盤が不十分」「子育てがしにくい」であったことから、通勤については、職住近接を実現するためにインフラ整備や産業振興に関する取組を進め、子育てについても第2子以降の保育料無償化など、こども未来基金を有効に活用しながら様々な取組を進めている。

**問** 市政の柱の1番が「子育て・教育」だが、給食費無償化について、まずは多子世帯無償化を検討しないのか。

**答** 無償化の実施にあたり、多子世帯の無償化も一つの選択肢だと考えているが、まずは一般の物価高騰のなかで、給食費を値上げせず、質・量を維持するため、材料費を一部負担することに取り組む必要があると考えている。

**問** 吉分幼稚園のこども園化は、どう進めていくか。

**答** 令和9年4月開園に向け、昨年の12月に基本計画を策定し、令和6年度にプロポーザル方式で事業者の選定を行う予定である。





不登校支援について

辰口綾子議員（日本維新の会）

**問** 長期欠席の児童・生徒数は。

**答** 令和4年度で90日以上以上の長期欠席者は小学校で72名、中学校で109名である。

**問** 不登校支援としてのびのびほっとルームやいきいきほっとルームがあるが、現状の課題は何か。

**答** 学校の別室に登校している児童・生徒への支援体制や、多様な子どもがいるなかで、ただそれそれぞれの子どもに合った支援を行っていくことができるかが課題である。

**問** 児童・生徒の悩みやSOSの早期把握に向けた対応の現状と課題は。

**答** SOSの出し方の授業を行っているほか、カウンセラーや教員が悩みを聞く機会を設けているが、このような体制の中でも悩みやSOSを出せない子どもたちが、出しやすい体制を整える必要があると考える。

**問** 不登校児童・生徒の増加により多様な教育機会の確保が大切だが、今後必要と考えることはなにか。

**答** まずは、いじめや体罰のない学校づくりが大切だが、多様性を認め、自己肯定感を高める授業を推進するとともに、校内サポートルームの設置やフリースクールなどと連携し、一人一人に合った支援を行える体制を整えることが必要だと考える。



誰もが安心して投票できる環境づくりについて

山下一哉議員（生駒市議会公明党）

**問** 高齢者や障がいを持つ方が、大切な一票をスムーズに投じるためには、更なる取組が必要と考える。他の自治体で導入している「投票支援カード」や「コミュニケーションボード」について、市の考えは。

**答** 投票所における選挙人との円滑なコミュニケーションに活用ができるため、導入に向けて前向きに検討していきたい。

**問** 投票所内での「名前の読み上げ」について、性的マイノリティの方や戸籍名を人前で呼ばれたくない方への配慮として、本市ではどのような対応を考えているか。

**答** 名簿照会の際に、他の選挙人に聞こえない程度に声を抑えることや、提案いただいた投票支援カードの活用などを検討したい。

**問** 市の南部に期日前投票所を設置する考えや進捗状況はどうか。

**答** 投票環境の充実と投票率向上のため、令和7年執行予定の参議院議員通常選挙から南コミュニティセンターに増設することを検討している。

他の項目

●家具転倒防止器具および感震ブレイカーの設置補助について



本市のひとづくりとは

改正大祐議員（凜翔・絆）

**問** 人事異動は人材育成の側面もあるが、人事異動の方針などはあるのか。

**答** 職員が培った能力を活用し、組織全体で行政目的を達成できるよう全体最適と個別最適の側面を考えている。特に若手職員は、3年程度ごとの異動で現場や窓口での市民・事業者対応業務、市のビジョン実現のための企画業務など、幅広い経験を積んでもらうことを考えている。

**問** 若手職員は3年程度で異動するとのことだが、同じ所属に長い期間いる職員も見受けられるが見解は。

**答** 人事異動は、課の業務内容や職員の自己申告制度における異動の希望を参考に考えている。同じ所属に長い期間いる職員もいることから、今後配慮し、人事異動を考えたい。

**問** 例年15人前後が自己都合で退職している。令和5年度末での自己都合での退職者数の見込みは。

また、退職理由の聞き取りは行っているのか。

**答** 18人となっている。自己都合での退職の場合、人事課で退職理由の聞き取りを行っている。

他の項目

●市ライン公式アカウントの活用について



登下校における安全対策について

芦谷真治議員（日本維新の会）

**問** 登下校する子どもの安全に関して、交通事故を防ぐための対策や取組は。

**答** 平成24年に、全国における登下校中の児童・生徒が死傷する事故が相次いで発生したことにより、同年8月に各小中学校の通学路において、関係機関と連携して緊急合同点検を実施し、危険箇所の解消に努めた。その後、引き続き通学路の安全確保に向けて、関係機関との連携体制を構築し、平成26年4月に生駒市通学路交通安全プログラムを策定した。それ以降、年一回、小学校から危険箇所の報告を受け、関係機関と合同点検を実施し、通学路安全対策推進会議で、それぞれの安全対策を検討した上で対応している。

**問** 警報発令時の登下校の安全における対策は。

**答** 気象庁の警報発令時の対応については、午前7時現在か、または、午前7時以降学校の始業時間までに本市に警報が発令された場合は、一日休校とし、児童・生徒がすでに自宅を出ている場合は、学校到着後、保護者に連絡の上、下校させている。また、安全な登下校ができるよう、日頃から命を守る安全教育に取り組んでいる。





消防団組織と地域の連携について

梶井憲子議員（日本維新の会）

**問** 本市の消防団は4つの機動分団と女性広報指導分団からなるが、団員の居住地の偏りを減らし、団員数を維持するために、機動分団への女性の入団および女性広報指導分団に男性が入団することへの市の考えは。

**答** 女性広報指導分団への男性の入団については、機動分団において、消防団車両での広報活動も担っており、分担しての活動を行っているが、今後の状況を注視して、消防団と検討していきたい。

また、機動分団への女性の入団については、人口減少による担い手不足ということも考えられることから、消防団の意向もふまえ、慎重に議論していきたい。

**問** 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の基本理念に基づき、地域や自主防災会と消防団が積極的に関係を深める姿勢や取組が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 地域防災力は、住民一人一人が自ら行う防災活動と自主防災会や消防団が相互に連携協力することで確保されるため、可能な限り防災活動への積極的な参加を促進するとともに、住民の理解を得るための取組がより一層必要であると考えている。



聴覚障がい児に対する切れ目ない支援について

高杉千代子議員（無会派）

**問** 聴覚障がい児の原因となる疾患の予防についてどのように周知するのか。

**答** 妊娠前の方にはホームページやラインを利用し、感染症などの原因疾患の周知を行いたい。妊娠された方には妊娠届出時の面談でそれらの情報を提供し注意喚起している。

**問** 風疹抗体価の低い方に対するワクチン接種への助成が必要と考えるが、市の見解は。

**答** 妊娠を希望される方への風疹ワクチンの接種費用の助成については、今後、少子化や子育て支援の観点からも総合的に検討する必要がある。

**問** 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）のり患者数は近年増加傾向にあり、令和5年度に県内でり患した方の数は52名である。感染拡大防止のための市の見解は。

**答** 効果的な予防法としてワクチン接種が挙げられるが、おたふくかぜの予防接種は予防接種法に基づかない任意の予防接種であり、効果や副反応を十分理解した上で接種する必要があるが、市として接種の判断に資するような効果的な周知・啓発に努めたい。



防災対策について

橋本宏淳議員（憲翔・絆）

**問** 災害対策の基本となる自助・共助・公助の考え方についての市としての見解は。

**答** 災害時、これらの考え方は多くの場面で状況に応じて連携・協力して機能するものであるが、そのバランスが重要であり、同時に多段階で対応していくものであると考えている。

**問** 災害協定について、締結から年月が経過しているものも多く見受けられるが、締結先との関係は維持されているのか。

**答** 定期的に連絡先の確認をするとともに、市主催で実施する防災訓練にご協力いただくなど、関係の維持に努めている。

**問** 発災後のごみの出し方、仮置場についての考え方や市民への周知方法は。

**答** 通常の燃えるごみはいつもの集積場へ出していただき、資源ごみについては、できるだけ自宅で保管していただくことをお願いしている。片付けごみについては、災害廃棄物処理計画に基づき、市が指定する仮置場に出していただくようごみガイドブックなどで周知している。

他の項目

●パートナーシップ連携協定について



市民自治、市民参画と協働はどうあるべきか

塩見牧子議員（無会派）

**問** 市民自治、市民参画と協働のあるべき姿について、市の考えは。

**答** 市民自治は、生駒市自治基本条例において、市民が地域課題に取り組み、市民が主役となったまちづくりを行うこととしている。市民参画と協働は、同条例および生駒市参画と協働の指針の中で、まちづくりの過程に市民が主体的に関わり、市民と市または市民と市民が、それぞれの役割と責任を担いながら、対等の立場で相互に補完し協力することと認識している。

**問** 複合型コミュニティは、行政主導で始まったが、自治の侵害との声も聞く。今の関わり方は適当か。

**答** ワークショップなどで課題を共有しながら進めてきたが、今後、活動の中でも対話を行い促していきたい。

**問** 自治会などへの補助金の在り方も考え直すとのことだが、いつまでにどのような方針で見直すのか。

**答** 現在、最終的な整理に至っていないが、令和6年度内に検討したい。

他の項目

●テレワークや副業にともなう新たな課題について

●市政顧問の設置について



生駒駅での募金活動の様子

令和6年能登半島地震にともなう募金活動を実施しました

議員共済会では、令和6年能登半島地震にともなう被災者救援の一助としていただくため、1月12日(金)および1月13日(土)に生駒駅周辺で義援金募金活動を実施しました。

みなさまの温かいご支援により、69万3008円のご協力があり、議員共済会からの義援金などを合わせて総額90万円を北信越市議会議長会に送金いたしました。

募金をいただきました方々に厚く御礼申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



議員研修会の様子

議員研修会を開催

1月17日、自治体議会研究所の代表として、議会改革をはじめとした議会事務全般にわたり研究され、各種研修会の講師としても活躍されている高沖秀宣さんをお招きし、議員研修会を開催しました。

今回の研修会は、議会改革の一環として、議員研修の充実を図るため、「議員の資質向上と議会運営の基本および議会力の向上」をテーマにご講演いただきました。

今回の研修で学んだことを、議会活動の活性化や市民福祉の向上と本市の更なる発展のために活かしていきたいと思っています。

## 市民懇談会を開催しました

生駒市議会では、議会基本条例に基づき、市政の課題や施策、議会運営についての意見や要望をお聞きするため、毎年、市民懇談会を開催しております。

令和6年1月27日は、生駒市自治連合会の役員や、自治会長のみなさまと「自治会運営の課題と今後の在り方について」意見交換を行いました。

お越しいただいたみなさま、ありがとうございました。

当日いただいたご意見・ご要望について、取りまとめた内容を市議会ホームページに掲載いたしますので、ぜひご覧ください。



▲市民懇談会のページ



▲市民懇談会の様子▶

未来ひろがる学びの場「i school」／

## 「みんなで議会に行ってみよう」

が開催されました

2月18日に「みんなで議会に行ってみよう」が開催され、親子連れを中心に30名の方にご参加いただきました。

議事堂の見学や、市議会議員との交流を通して、市議会や議員の仕事について学んでいただく機会となりました。

交流会では、ざっくばらんに質問などのやり取りを行い、市議会や議員活動のリアルを知っていただきました。

このイベントを通して、市議会をより身近に感じていただければ幸いです。





| 3月       |          |          |          | 2月       |          |          |          | 1月       |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 8日       | 7日       | 6日       | 5日       | 29日      | 28日      | 22日      | 19日      | 14日      | 31日      | 30日      | 26日      |
| 議員共済会幹事会 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 |

| 6月定例会の予定 |          |          |          | 5月       |          |          |          | 4月       |          |          |          | 3月       |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 9日       | 22日      | 17日      | 16日      | 22日      | 21日      | 18日      | 14日      | 13日      | 12日      | 11日      | 10日      | 9日       | 8日       | 7日       | 6日       |
| 議員共済会幹事会 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 | 3月定例会本会議 |



これからの会議の予定は市議会のホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。

## 「いこま市議会のうごき No.157」アンケート結果

「いこま市議会のうごき No.157」で実施したアンケートの結果（一部）をお知らせいたします。

【問】「市政に関心のある事柄はありますか。（複数回答可）」

| 回答選択肢               | 回答数 |
|---------------------|-----|
| A 住んでいる地域の現状・課題について | 8件  |
| B 市の計画について          | 6件  |
| C 公共施設やサービスについて     | 9件  |
| D 税金の使われ方について       | 6件  |
| E 学校教育・社会教育・子育てについて | 7件  |
| F 5年後のまちの姿について      | 6件  |
| G その他               | 5件  |
| 総回答数                | 47件 |

### G「その他」の自由記述

- ・老朽化するインフラへの長期的な展望
- ・市の下水道計画について
- ・生駒市の緑の維持、水道事業について など

※詳細は市議会のホームページをご覧ください。

## 生駒市議会個人情報保護制度運用状況の公表

生駒市議会の個人情報の保護に関する条例第53条の規定に基づき、運用状況を公表いたします。

▼令和5年度中の開示請求0件

## 「いこま市議会のうごき」アンケート

今後の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。

回答方法 締切：6月14日(金)

【インターネット】 <https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/0000034099.html>

【F A X】 0743-74-9481

【郵便】 〒630-0288 生駒市東新町8番38号 議会事務局あて

※郵便の場合は、下のアンケートに記入のうえ切り取っていただき、はがきに貼り付けるか、封筒に入れて郵送してください。



## 「いこま市議会のうごき No.158」質問項目と回答

問1 年代をお伺いします。

- A 18歳未満 B 18～39歳 C 40～64歳  
D 65～79歳 E 80歳以上

問2 「いこま市議会のうごき」で関心のある記事は何ですか。また、載せてほしい記事はありますか。（複数回答可）

- A 審議したおもな議案 B 一般質問  
C 議決結果賛否一覧 D その他（ ）  
E 載せてほしい記事があればご記入ください（ ）

問3 「いこま市議会のうごき」について、ご意見・ご要望や読んでみたい記事などがあればご自由にお書きください。

## 令和6年3月定例会の議決結果

| 賛否が分かれた議案名                                   | 議決結果 | 共産党   |       | 公明党   |       | 凛翔・絆  |       |       |       |       |       | 維新   | 無     | 無     | 無     | 無     | 無     | 無     | 無     |       |       |       |       |
|----------------------------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                                              |      | 浜田 佳資 | 竹内ひろみ | 恵比須幹夫 | 成田 智樹 | 山下 一哉 | 白本 和久 | 福中 眞美 | 吉村 善明 | 片山 誠也 | 改正 大祐 | 森 雄亮 | 橋本 宏淳 | 梶井 憲子 | 辰巳 綾子 | 芦谷 真治 | 伊木まり子 | 塩見 牧子 | 神山さとし | 加藤 裕美 | 中嶋 宏明 | 中尾 節子 | 高杉千代子 |
| 令和6年度生駒市一般会計予算                               | 原案可決 | ●     | ●     | ○     | ○     | ○     | ○     | —     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ●     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     |
| 生駒市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について(修正案) | 否決   | △     | △     | ▲     | ▲     | ▲     | ▲     | ▲     | —     | ▲     | ▲     | ▲    | ▲     | ▲     | ▲     | ▲     | ▲     | △     | ▲     | △     | ▲     | ▲     | ▲     |
| 生駒市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について(原案)  | 原案可決 | ●     | ●     | ○     | ○     | ○     | ○     | —     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ●     | ○     | ●     | ○     | ○     | ○     |

◎議長(吉村善明)は、議決に加わらないため、「—」と表示しています。  
 ◎会派名: 共産党(日本共産党)、公明党(生駒市議会公明党)、維新(日本維新の会)、無(無会派)

○=原案賛成 ●=原案反対  
 △=修正案賛成 ▲=修正案反対

### 全会一致で原案可決・承認・同意・了承・適任とした議案

- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・専決処分につき承認を求めることについて(令和5年度生駒市一般会計補正予算(第8回))
- ・令和6年度生駒市公共施設整備基金特別会計予算
- ・令和6年度生駒市介護保険特別会計予算
- ・令和6年度生駒市国民健康保険特別会計予算
- ・令和6年度生駒市後期高齢者医療特別会計予算
- ・令和6年度生駒市水道事業会計予算
- ・令和6年度生駒市下水道事業会計予算
- ・令和6年度生駒市病院事業会計予算
- ・令和5年度生駒市一般会計補正予算(第9回)
- ・令和5年度生駒市介護保険特別会計補正予算(第2回)
- ・生駒市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定について
- ・生駒市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市子ども医療費助成条例等の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市自動車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市高山竹林園条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市水道事業給水条例及び生駒市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
- ・損害賠償の額の決定について
- ・生駒市自転車駐車場の指定管理者の指定について
- ・生駒市山麓公園の指定管理者の指定について
- ・奈良広域水質検査センター組合規約の変更について
- ・第6次生駒市総合計画第2期基本計画を定めることについて
- ・生駒市監査委員の選任について
- ・生駒市教育長の任命について
- ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- ・令和6年度生駒市一般会計補正予算(第1回)
- ・生駒市税条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について
- ・地域公共交通に関する決議について
- ・若者のオーバードーズ(薬物の過量服薬)防止対策の強化を求める意見書(案)

### 「マチイロ」のご案内

「いこま市議会のうごき」をより多くの方に届ける情報発信方法として、スマートフォンおよびタブレットで「生駒市議会のうごき」をご覧いただける「マチイロ」を利用した配信を始めました。

#### 導入方法

- ①「マチイロ」のアプリをインストール
- ②性別・生年月日を入力し、居住地に「生駒市」を選べば設定完了です。
- ③自動的に最新号を配信します。



### 編集後記

昨年の市議会議員選挙から1年が経過しました。  
 これまでに、市民懇談会などにおける市民のみなさまとの意見交換や交流によって、さまざまな貴重なご意見を頂きました。頂いたご意見は全議員で共有し、今後の議会・議員活動に活かしていきたいと思えます。  
 これからも引き続き、みなさまとの対話を大切にしていきたいと考えていますので、みなさまのご参加を是非ともよろしくお願い申し上げます。